

# 畜産・酪農の競争力の強化

畜産関係予算総額2,368(1,853)億円

【26補正:271億円+27当初:2,097億円】

農家戸数、飼養頭数の減少といった生産基盤の弱体化が懸念され、配合飼料価格の上昇や経済連携の進展など我が国畜産をめぐる情勢は大きく変化をしている中で、①収益性向上、生産基盤の維持・拡大のための競争力向上、②輸入飼料依存から脱却するための自給飼料生産拡大、③経営安定のためのセーフティネットの3つの柱を重点的に実施することとし、そのために必要な予算を確保。 【昨年度からの増額分:515億円】

## ① 畜産・酪農の競争力向上

➤ 収益性向上、生産基盤の維持・拡大のため、高収益畜産への転換、生産性向上、畜産環境問題への対策を進めることにより、畜産の競争力向上を図る。

### 畜産・酪農の成長産業化

◎畜産競争力強化対策 286(1)億円【補正:210、当初:76】

○高収益型畜産体制構築事業 3(1)億円【補正:2、当初:1】

畜産農家と畜産関係者（コントラクター、飼料メーカー、実需者等）の結集による地域全体での収益性向上のための取組（畜産クラスターの構築）を支援

○畜産収益力強化対策【新規】 276(－)億円【補正201、当初:75】

畜産クラスター計画に位置づけられた地域の中心的な畜産経営体が行う収益性向上、畜産環境問題への対応に必要な機械のリース整備、施設整備等を支援

○国産畜産物の新たな市場獲得のための技術開発促進事業【新規】 7億円(－)【補正:7】  
〈国産畜産物の需要拡大に掲載〉

◎強い農業づくり交付金（食肉等再編優先枠） 20(－)億円【当初:20】

高収益産地体制への転換を図るために、産地食肉センター等の再編合理化を支援

### 畜産・酪農の生産力強化

◎畜産・酪農生産力強化対策 23(－)億円【補正:20、当初:3】

○畜産・酪農生産力強化緊急対策事業 20億円【補正:20】

和牛の生産拡大と生乳供給力の向上に資する和牛受精卵移植・性別別精液の活用や関係機器の整備、肉用牛の繁殖向上のための新たな取組（発情発見装置の導入等）を支援

○和牛の生産拡大を支える研究開発【新規】 3(－)億円【当初:3】

受胎率の向上に向け、性別別精液の評価精度の向上や繁殖機能の改善等の研究開発を推進

### 国産畜産物の需要拡大

○国産畜産物の新たな市場獲得のための技術開発促進事業【新規】〈再掲〉  
（畜産競争力強化対策のメニュー） 7億円【補正:7】

畜産物分野における国産シェアの拡大に向け、国産畜産物の加工原料への利用を促進するための技術開発等を支援

○輸出促進緊急対策事業 3億円【補正:3】

オールジャパンでの輸出促進に向けた畜産物等の品目別輸出団体の育成、セミナーの開催などJETROを通じた事業者への支援

## ② 自給飼料の生産拡大

➤ 輸入飼料依存から脱却するため、生産性向上のための草地改良、濃厚飼料原料の増産、飼料生産組織の育成、エコフィードの増産等により、国産飼料に立脚した畜産への転換を図る。

◎自給飼料の生産拡大 236(111)億円【補正:97、当初:139】

○飼料増産総合対策事業 31(14)億円【補正:20、当初:11】

難防除雑草の駆除等による草地改良、濃厚飼料原料（イアコーン等）の増産、飼料生産組織（コントラクター等）の育成、レンタカウを活用した肉用繁殖牛等の放牧の推進、エコフィードの増産等を支援

○飼料生産型酪農経営支援事業 66(62)億円【当初:66】

環境負荷軽減の取組に加え、新たに畑地における飼料の二期作・二毛作、耕種農家による契約栽培など酪農経営における飼料生産拡大を支援

○飼料用米の利用拡大に向けた畜産機械リース事業 59億円【補正:59】〈再掲〉  
（畜産収益力強化対策のメニュー）

飼料用米の円滑な生産等を推進するため、その利用・保管に係る機械等のリース導入を支援

○配合飼料供給体制整備促進事業 4億円【補正:4】

飼料用米等を活用した配合飼料の供給・利用の促進等のための飼料供給体制の整備を支援

○草地関連基盤整備〈公共〉（農業農村整備事業で実施） 72(36)億円【補正:10、当初:62】

離農農家の草地の円滑な継承を図るため、草地改良と併せて行う施設用地確保のための離農施設の撤去を支援するとともに、牧柵の除去等の簡易な基盤整備等を推進

○自給飼料の生産拡大を支える研究開発 4億円【補正:4】

イアコーンなど新たな自給飼料の給餌と放牧を組み合わせた牛肉生産技術体系の確立に向けた研究開発を推進

## ③ 畜産・酪農経営安定対策の実施

➤ 畜種ごとの特性に応じて畜産・酪農経営の安定（配合飼料価格の高騰時への対応を含む。）を支援し、意欲ある生産者が経営の継続・発展に取り組める環境を整備。

<合計額> 1,830億円(1,710)億円

○加工原料乳生産者補給金	(所要額)	311(311)億円
○国産乳製品供給安定対策事業		5( 6)億円
○肉用子牛生産者補給金	(所要額)	213(213)億円
○肉用牛繁殖経営支援事業	(所要額)	159(159)億円
○肉用牛肥育経営安定特別対策事業	(所要額)	869(869)億円
○養豚経営安定対策事業	(所要額)	100(100)億円
○鶏卵生産者経営安定対策事業		52( 52)億円
○配合飼料価格安定制度	(所要額)	122(－)億円

※ 畜産関係予算には、上記のほか、飼料穀物備蓄対策事業など計30億円(31億円)が含まれる。